

PRESS RELEASE

報道関係各位

2025 年 9 月 9 日
株式会社トレードワルツ

株式会社トレードワルツ「AI-OCR 機能」を追加し貿易業務の効率化へ

～10 月よりリリース予定～

貿易情報連携プラットフォーム「TradeWaltz®」を運営する、株式会社トレードワルツ（本社：東京都港区、代表取締役社長：佐藤 高廣、以下「トレードワルツ」）は、貿易書類の内容を自動で読み取り・解析を行い、二次利用可能なデータとして TradeWaltz® に登録する AI-OCR 機能の提供を開始します。TradeWaltz® ご利用ユーザー様からのご要望の強かった商業インボイスに対応する AI-OCR 機能を 10 月より提供し、以降対応書類やデータ利活用ケースの拡充を図ってまいります。

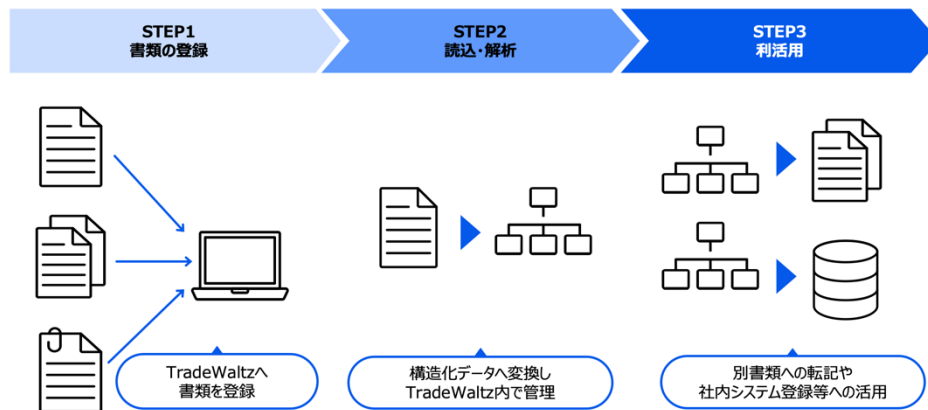


本機能を開発する背景として、貿易プロセスではステークスホルダー間にて多くの貿易書類がやり取りされていますが、未だに紙・PDF 形式での貿易書類が主流であり、書類の作成業務や転記・確認業務に多くの工数を割かれているのが現状です。

TradeWaltz® では PDF の保管、ステークスホルダー間での連携機能を提供しておりますが、ご利用ユーザー様より「保管している PDF をデータ化し、他の書類作成・申請に活用したい」とのお声を多く頂いておりまして、当該機能を開発・提供することと致しました。

■ 本機能の導入効果

本機能は TradeWaltz® 上に登録された貿易書類を AI-OCR 機能を用いてデータ化し、構造化データとして登録・管理することができます。これにより PDF として受け取ったデータを他の書類作成や申告に流用可能となり、また必要に応じて自社システムへのデータ取り込みが容易となります。



■ 機能詳細

対象書類は商業用インボイス。主な機能としては下記の通りです。

- ・貿易書類に記載の商品明細等の自動読み取り・解析
- ・読み込みデータの自社基幹システムへの連携
- ・荷主様が読み込んだデータのフォワーダー様への連携

■ 今後の展望

今後早期に対象書類の拡大や、読み込みデータの利活用ユースケースの拡大を実装し、読み込みデータを以下の業務へ連携していく事を考えています。

- ・通関業務への連携
- ・動静管理への連携
- ・登録した貿易データの分析・利活用

■ 本機能デモンストレーションを行います。

展示会名：国際物流総合展 2025 第4回 INNOVATION EXPO

日時：9月10日(水)～12日(金)

会場：東京ビッグサイト 東ホール 7-808

参加方法：事前登録制。下記 URL より是非ともご来場登録ください。

<https://www.logistech-online.com/jp/registration.php?exhibitor=EX000198>

■ トレードワルトツについて (<https://www.tradewaltz.com>)

株式会社トレードワルトツは、貿易業務に関わる情報を電子データで一元的に管理できる貿易情報連携プラットフォーム「TradeWaltz」を SaaS として運営・提供しています。NTT データと主要な貿易実務者 18 社からなる貿易コンソーシアムで約 4 年間のシステム開発・技術実証、法改正提案、事業構想を経て、サービス化。

現在は、株式会社 NTT データ、豊田通商株式会社、東京大学協創プラットフォーム開発株式会社、住友商事株式会社、三菱商事株式会社、株式会社 TW Link、東京海上日動火災保険株式会社、株式会社三井住友銀行、豊島株式会社、株式会社上組、株式会社フジトランス コーポレーション、三井倉庫ホールディングス株式会社、株式会社日新、株式会社三菱 UFJ 銀行、丸紅株式会社、三菱倉庫株式会社、株式会社みずほ銀行、損害保険ジャパン株式会社の 18 社の共同出資により、事業を運営しています。

本件に関するお問い合わせ先（株式会社トレードワルツ）
広報・マーケティングチーム 担当：菊地、榎田 Email : info@tradewaltz.com